

総合計画策定のためのアンケート調査による質問、要望等（自由記載）に対する対応状況

	アンケート意見	担当課	これまでの対応、これからの対応
<b>高齢者福祉</b>			
一般 p 49	養護老人ホームは今年度で廃止になると聞く。この施設の活用方法を考えてはどうか。例えば、当分このまま建物が残るとすれば公営住宅で高齢者1人住まいが数多くいる。この人達を、住宅として移住させ、談話室もあり、見守りアパートにもなる。一案ではないか。	老人ホーム 建設水道課 総合ケアセンター	養護老人ホーム閉所（令和2年3月予定）が決定してから、住民意見等を把握しながら活用方法を検討することとしています。
一般 p 51	コミュニティバスが予約できて、玄関先まで送迎してくれる（有料でワンコイン位）と、農村地区の高齢者はありがたい。また、農繁期、高齢者をあずけられる施設があるといいのでは	老人ホーム 企画振興課	ショートステイ（短期入所）を利用するには対象者は限定（要介護認定者等）されます。施設の空き状況（最大5名）により日程調整は必要となりますが、利用する際、送迎対応も可能であります。 <b>「再掲：公共交通」</b> 高齢による免許証の返納などにより、医療機関への受診や買い物等のために利用する交通手段が不便となることが課題となっています。 町では行政改革推進本部会議、交通体系検討部会において検討し、皆さんのご意見を聞きながら進めていく考えです。
一般 p 42	高齢化も進み、皆不安をかかえていると思う。施設（安定した金額）等を増やし一人一人が安心して暮らせる町が良い。	総合ケアセンター	安定した金額の施設等を増やすという事は、介護保険制度等の下における施設となり、介護保険料（住民負担）が増すこととなります。介護施設等への入所ニーズと介護保険料の増加（住民負担）のバランスを考慮しながら、慎重に検討を進めて行きます。
一般 p 46	高齢者の入所施設なども増やしてほしい。		
一般 P27	認知症対策等健康寿命伸長対策と高齢者の介護施設の増強充実。		
一般 p 47	少子高齢化によりマンパワーの弱体化が進む。高齢者の活用（70代はまだまだ使える）	総合ケアセンター	令和2年度に実施予定の高齢者等実態調査により高齢者の意向を把握し、第8期銀河福祉タウン計画（令和3年～令和5年）に定めて実施していきたいと考えています。
一般 p 48	高齢者が多くなる時代に向けて、引きこもりにならずに気軽に交流が出来る自由来館の場所があると良いですね。	総合ケアセンター	高齢者等のひきこもりは全国的な課題であると認識しております。令和2年度が地域福祉計画の策定（見直し）年度となることから、関係者・関係機関と検討を進めて行きます。

一般 p 51	本別は、福祉のまちと言っているようですが、自分自身はそうは感じていません。老人の一人暮らしが多くなっているのだから、声をかけてくれたり（周りの人たちが）月1回は家を訪問したりして、老人を元気づけてほしいです。	総合ケアセンター	社会福祉協議会が実施している「在宅福祉ネットワーク事業」では、自治会を単位として、地域の福祉部の方々が1人暮らし等の方の見守り・声かけを行っています。自治会により頻度は異なりますので月1回に満たない地域もあると思われます。
一般 p 49	高齢の方が免許証を返されて買い物になかなか出かけられないという話を耳にします。他の人に依頼をするとほしい物でなかったり…。なので高齢の方といっしょに買い物をするのも大変だとは思いますが、そういうサービスもあっても良いのかな？と思います。	総合ケアセンター 企画振興課	社協あんしんサポートセンターの事業で「買い物代行（または徒歩で一緒に買い物に行く）」というサービスはありますが、“車で一緒に買い物に行く”というサービスには至っていないため、社協と検討を進めます。 <b>「再掲：公共交通」</b> 移動販売を含め、買い物に不自由している方のご意見を伺いながら、対策を進めていきます。
<b>地域福祉</b>			
一般 p 46	外国人就労者が働きやすい町作りをする。お店屋さんにはポケットパークを配置する。言葉の壁をなくす。それを売り込む。	企画振興課	総合計画策定審議会においても同様のご意見をいただいています。今後、外国人就労者は増加していくことが予想されることから、住みやすいまちづくりを推し進め、共生する社会を形成していく必要があると考えています。

農林業			
一般 p 42	農業をやりたいと思う若者が集まる町で、農大があるので、何かつながらないものでしょうか。	農林課 企画振興課	<p>雇用就農希望が多くいることから本町・農協で5月ごろに農大で開催する大規模な就職相談会に本町の農業者も参加します。令和2年度より雇用就農確保をめざす組織を立ち上げ、農大をはじめ広く本町農業へ人材を確保できるよう取り組む予定です。なお、令和元年度卒業生4人が本町の農業関係する仕事に就いています。</p> <p>地域づくりセミナーでも同様の意見が出されています。大高校生との個人の交流や大学校との連携を強めていくこと、卒業後も継続して本別との関りを持てるよう推し進めます。</p>
一般 p 53	農大が本別にあるのにメリットを生かしていない。卒業したら町外へ。もったいない。		
一般 p 43	町の特産品を町、農協と話し合いもう少し増やすよう提案したいです。	農林課 企画振興課	農産物の特産品開発について、観光協会やクレイマメの会などで情報交換を行っていますが、ご提案にあるとお話し合いの機会を増やし、特産品開発につなげていきたいと考えています。
一般 p 46	農業の町であり、農産物の加工産業に力を入れるべき。大手業者と連携、販売ルートの確立。豆類、穀物、ジャガイモ、牛乳、砂糖、小麦等、一次産業と二次産業の連携。海外を含む輸出ルート。最終的には雇用の拡大、消費の拡大で人口増になる。	農林課 企画振興課	<p>地元の工場で加工して町外に届けることで流通のシンプル化を図ることができ、利益も拡大できます。生産・流通の間で加工をする「農業の産業化」により農業所得の安定性にもつながります。</p> <p>豆類では本町が原種となっている「中性光黒大豆」を活用した「クレイマメ」商品の開発、製造、販売に取り組んでいます。他の農産物についての加工・製品化など、JAや事業者との協議・検討を進めていきます。</p>
一般 p 48	無農薬・有機栽培で生産者の顔が見え、安心安全な食材と経済の循環を目指すことは不可能なのか？	農林課 企画振興課	生産段階から製造・加工段階・流通段階・小売段階・消費者に届くまでの追跡可能性（トレーサビリティ）が重要であり、これに加えて、消費者の声が生産者・事業者が届くという関係が大切だと考えます。双方の情報交換がスムーズできる関係性を構築することに努めます。地産地消、町内循環を構築することで消費者と生産者のメリットを追求していければと考えています。

一般 p 51	町は酪農家が多いが、自社ブランドで作った(チーズ)乳製品がないのが残念に思います。役場、JAと連携してみてもいいでしょうか。	農林課 企画振興課	自社ブランドを設立して6次産業化をめざすには衛生基準、施設、採算性などの面で多くの課題がありますが、今後検討していきます。
一般 p 45	最近牛舎建て替え等で規模拡大と、フリーストール牛舎が増加しています。環境問題が深刻になる前に糞尿処理問題に真剣に取り組むべきだと思います。	農林課	本町では、「町家畜ふん尿利活用対策協議会」を設立しており、家畜ふん尿を処理するバイオガスプラント設立などの検討を行っています。現在、バイオガスプラントで発電した余剰分が北電へ売電ができない状況ですが、十勝にもバイオマス推進関連の団体等がありますので、連携して環境問題に取り組んでいきたいと考えます。
一般 p 45	本別公園などにライダーの人の宿を作ってみてもいいでしょうか。その人たちが希望すれば農家のアルバイトなどができるというようなシステムにしておけば、もちつもたれつの関係になるのでは?たまたま、それが無理でも、泊まる場所があれば買い物などをして、少しは町も潤うのではないのでしょうか。	農林課 企画振興課	管内19市町村と24農協で協議会を組織して雇用就農・短期アルバイトのマッチングソフトの開発、労働力の需給状況の整理により、令和3年に本格稼働をして、誰もが気軽にインターネットを通じて雇用情報を検索できるようになります。 多くのライダーが本別公園キャンプ場を利用しています。キャンプ場利用者に対してアンケートを予定していますので、そのような要望についてもお聞きしたいと考えています。

商工業の振興			
一般 p 43	商業効果があるならいいですが、イベントごとが多すぎて、ちょっとついていけない。(もう少し数が少なくても良い。その分1回1回の内容がもう少し濃度がほしい)	企画振興課	各種イベントについては、実行委員会が主体となり企画運営を行っています。また、イベントが多く賑わいがあるという意見も多くあると認識していますが、個々のイベントについて見直し等必要な内容については意見を伺いながら、実行委員会等へ伝えていきます。
一般 p 52	人が「本別だから」「本別に行ったらある」等の求められる物を作って人を集める事業を考えてほしい。例えば、樹木葬が出来る。キャンプ場に入浴施設みたいな物をつくる。	企画振興課	本別ならではの「人」や「資源」についてのPRに努めるとともに、多くの皆さんからの意見を集約して検討してまいります。
中学 p 14	この場所がすごいよと思わせるスポットやこの食べ物はここが一番おいしいなど初めて来た人がそう思うような物を作る必要があると思います	企画振興課	本町を代表する新たなスポットや食について、多くの皆さんの意見を集約し具体化する検討を進めてまいります。
一般 p 45	昔から砂糖工場がありながら(固定資産税が町に入るプラス面はありますね)、町民に対する還元が全く無く、また、豆の町ほんべつと謳いながら私達は普通の価格でしか手に入らない。	企画振興課	町民還元用の製品開発や既存製品の町民価格設定について、JAやクレイマメの会、ふるさと納税出品事業者などへ要望をお伝えするなど、実現が可能なことについての協議を行います。
一般 p 44	空き店舗をうまく利用してゆっくりできるコーヒープレイクな所がほしい。他の市、町から来て本別は、喫茶店が無いと言われ、考えるべき。	企画振興課 総合ケアセンター	喫茶店は街中に2店舗、郊外に2店舗があり、町外からのご利用もあると聞いていますので、ご理解いただければと思います。また、空き店舗を活用し喫茶店を開業する際に活用できる「起業家支援補助金」もありますので、周知にも努めていきます。 現在の助成事業では「住宅(空き家)」しか該当にならないため、「空き店舗」に対する支援策も検討が必要であると認識しています。
一般 p 47	特産品を町外で売る時に、きちんと利益率を考えて、売れないものをやめた方がいいと思う。	企画振興課	町外での物販については、商品PRを含めて行っており、ご指摘にある部分については、商品の入荷数を調整しています。魅力ある商品開発など事業者との意見交換により、検討してまいります。

一般 p 46	へき地の人は、店がなくて不便。高齢者が増えてきている。集まる事すら大変な人もいるので、代行サービスを定期的に受けられるようになるといいのでは。	企画振興課 国保病院 総合ケアセンター	社協あんしんサポートセンターの事業で「買い物代行（または徒歩と一緒に買い物に行く）」というサービスはありますが、“車で一緒に買い物に行く”というサービスには至っていないため、社協と検討を進めます。
一般 p 42	田舎に住んでいるとお店もなく買い物にも行けなくなる。病院も本別まで行かないといけないその反面車の運転（老人）が問題になっている中で、いつまで自分のチカラで住んでいれるのか（生活できるのか）移動販売の車、往診（地域の集まる場所、週1でも週2でも）したりできたらいいなと思います。		ご意見にあります、移動販売を含め、買い物に不自由している方のご意見を伺いながら、対策を進めていきます。 <b>「再掲：医療」</b> 地方での生活の継続には医療サービスは欠かせません。その点で訪問診療は各地域での医療ニーズにある程度応えられるサービスであると考えており、今後のサービス拡大へ向け検討を進めています。
一般 p 49	高齢の方が免許証を返されて買い物になかなか出かけられないという話を耳にします。他の人に依頼をするとほしい物でなかったり…。なので高齢の方といっしょに買い物をするのも大変だとは思いますが、そういうサービスもあっても良いのかな？と思います。		
一般 p 49	想像力を働かせて、自然豊かな本町の自治体と町民が協力し小さくても挑戦を試みる事も大切かと思えます。 例 体験型宿泊レストラン 農業、野菜、乳牛関係等々で、自分達で体験してもらい手作りで何かを作り調理し食するという、教育にも繋がると思えます。宿泊施設に関しては、使用していない施設（保育所、学校等）をリメイクして利用する事で可能と考えます。	農林課 企画振興課	農山漁村における滞在型余暇活動、田舎を舞台として自然・文化・人々とのふれあいを楽しむことを目的とした新たな観光形態を目標とした町民有志の団体が北海道の支援を受けて令和2年度より本格的に活動が始まりました。体験型宿泊レストランなど地域資源の活用・地域の再生に向けての1つのテーマとして農林課事務局より提案していきます。 平成31年4月から旧南保育所を改修した「しごと体験交流館」がオープンしました。本町での仕事体験や実習などを行われる方の宿泊施設として利活用しています。 総合計画策定審議会、まちづくりセミナーでも同様のご意見が出ており、具体的な提言もいただいています。取り組みできる所から少しずつ積み重ね、新たなチャレンジにつなげていくよう取り組んでいきます。

<p>一般 p 48</p>	<p>銀河通りの様に、国道沿いの商店も、ある程度景観を統一することは困難なのではないでしょうか？ 国道沿いの空き店舗を所有者の居住区と切り離し、貸物件にすることは不可能なのか？</p>	<p>企画振興課</p>	<p>空き店舗を有効活用するための取り組み（チャレンジショップ等）を以前にも商工会と連携し試みたことがありますが、家賃や店舗内の片付け、事業の継続性など多くの課題があり、町や商工会が借主となり事業を行うことは難しい状況です。空き店舗を店舗として活用していただくための情報提供のあり方など、商工会と協議を進めてまいります。</p>
<p>一般 p 51</p>	<p>国道沿いの空き店舗の利用方法を考えてみては？たとえば学生（中高生）に店舗を貸し自分達の店を営業してもらおうとか。移住していただく方達に低金額で貸し、カフェ、レストランなど開店してもらおう。また、子育て中のお母さん達の手作り物などの雑貨、地元で採れる野菜の販売など活用してはどうでしょうか。</p>	<p>企画振興課</p>	<p>銀河通り商店街は北海道の道路事業と並行して行われた経過があります。国道沿いの空き店舗については町商工会とも連携して有効活用を図っていきたいと考えます。</p>
<p>一般 p 48</p>	<p>地元産の農産物を、本別じゃなければ味わえない料理として提供する。食堂やレストラン（アンテナショップも含め）として開業する気はないのか？</p>	<p>企画振興課</p>	<p>本別ならではの「食」づくりについて、観光協会やキレイマメの会で検討しながら、製品化に努めています。「黒豆味噌豚丼」や「黒まん」など、本別でしか味わえない商品開発への支援やPRに努めてまいります。また、商店の開業に係る費用の一部を助成する「起業家支援補助金」制度の活用も併せて周知を図ってまいります。</p>

子育て支援			
一般 P35	子どもが減ってきている。児童館は栄町と北は1つにまとめてはいいのではないか。	子ども未来課	ご意見のとおり、少子化などにより、児童館の利用者は年々減少しています。子ども・子育て会議を中心に議論をいただき、今後の館の管理運営を考慮し、3館ある児童館のうち、令和2年4月から北地区交流センターにおける児童の自由開放を終了することとしました。
一般 p 45	出産や子育てがしやすい町づくりに取り組むべきだと思います。	子ども未来課	こども園、子育て支援センターの整備、利用者負担の軽減など大きく施策を展開しています。特に利用者負担額は管内で無料としている上土幌、足寄を除くと管内でも一番安い負担額としています。(3歳以上は無料) 令和元年10月から、幼児教育保育の無償化がスタートし、3歳児から5歳児の保育料の無償化に併せ、給食料についても町が負担することとしました。
一般 p 51	子育てにやさしいまち「子どもを育てるのは本別だよねエ」っていうまちづくりをしてほしい。	子ども未来課	平成26年度に子ども未来課が設置されて以降、こども園、子育て支援センターの整備、利用者負担の軽減、オムツ用ゴミ袋の無料配付、勇足、仙美里地区の学童保育所整備、さらに、児童発達支援センターにおける支援を必要とする児童への療育など、色々な子育て施策を展開してきました。 令和2年度からは、就学前教育・保育施設に英語を母国語とする外国人講師を招聘し、楽しみながら英語に触れ、国際感覚を育むことが出来る、こども英語チャレンジ事業を実施しています。 子育てにやさしいまち「子どもを育てるのは本別」というまちづくりを展開します。
高校 p 13	子ども達が楽しく遊べる場所をふやしてほしいです。	企画振興課 建設水道課	都市公園(21箇所)をこれからも引き続き、楽しく遊べる場所になるよう、公園運営に努めていきます。

生活環境（空き家）			
一般 P27	空き家の周りのゴミをなんとか出来ないものですか。	住民課	所有者の方に文書で清掃等お願いをしています。遠方等によりできない場合は業者を紹介しています。
一般 p 44	空き家が多いのが目立つ。貸すのか、売するのか、壊すのか？防災、防犯対策にもなります。イメージもすごく悪く、嫌な感じです。夜歩きもこわいです。	建設水道課 総合ケアセンター	平成 28 年 2 月に本別町居住支援協議会を設立して以降、空き家等相談会、空き家等セミナーなどを開催しています。また、空き家に対する助成事業（リフォーム、除却）も実施しています。
一般 p 42	都会で暮らす人々（一部分）は田舎暮らし、自然にうえていますので、緑豊かな自然環境に恵まれている本別町をどんどんアピールして、移住してもらう様に働きかける。1つは空家を提供する、活用するのも方法だと思います。	総合ケアセンター 企画振興課	<p>空き家の利活用等については、本別町居住支援協議会において協議しており、「民間住宅（空き家）を活用したお試し住宅」の実施に向け取り組みを進めています。</p> <p>東北部 3 町で設置した移住サポートセンターと連携し、首都圏でのフェアや相談会への参加を強めています。利活用できる空き家物件は、直ぐに借主が見つかる現状なので、入居可能な空き家を担保しておくこと自体が数的に厳しい現状です。</p>
一般 p 43	空き家の有効活用がほしい。たとえば、町一部負担によるリノベーション。いかにも活気がない町にみえる。町の中心部（北 1 丁目など）に多くあるのが気になる。何らかの使い道はないものか。（町外からの移住先として使える、など）	総合ケアセンター	住まいの環境整備促進事業において、平成 30 年度より空き家のリフォーム助成を実施しています。（100 万円以上の工事費に対し助成額 30 万円）
一般 p 53	公共施設の案内看板がない。はじめての人はわからない。役場も、体育館も、スポーツ施設も全くない。不親切。	建設水道課 企画振興課 総務課 教育委員会	<p>本別公園・道の駅の案内看板の設置をこれまでに実施しています。ご意見につきまして検討させていただきます。また、町ホームページへの掲載や看板を設置する箇所の道路管理者（国・道）とも協議をして検討します。</p> <p>庁舎内の案内看板に各課の配置図を表示した看板を設置していますが、わかりづらければ近くの職員にお声掛けいただければご案内します。</p>

中学 p 13	若い人が楽しめる所を作るといいと思う。地域の人と交流できる場所を作る。	企画振興課 教育委員会	「道の駅」多目的ホールにおいても、貸館以外の時間（ほとんどの時間）は、多目的交流スペースとして活用できますので、広報周知に努めます。
中学 p 15	アースホールのような多目的スペースや交流のできる施設が多い方が町もにぎわうのでは。		
一般 p 44	フクハラ本別店の空スペースを借り上げて、町民が交流できるスペースにしてほしい。飲食が自由にできる、コンセントがあって社会人や子ども達が勉強、休憩できる場所が本別にもほしい。（帯広の十勝プラザのようなところ）		とかちプラザ1階「アトリウム」のような居場所づくりについてのご提案ですが、本町では、北3丁目「道の駅」、「アースホール」が自由に交流し居場所となる機能を持っており、こどもから高齢者までの幅広い年代に活用されています。とかちプラザと比較して面積や設備などで劣る部分もありますが、町内にある公共施設を最大限利活用いただきたいと考えています。
<b>生活環境（住宅）</b>			
一般 p 52	街に近い場所（たとえば向陽町団地）に集約し、コンビニの一つも作ったら入居者も喜ぶのではないかと思う。	建設水道課	公営住宅の整備計画では、市街地にある向陽団地については、室内改善や建替を進めて行く事になっております。
一般 p 49	養護老人ホームは今年度で廃止になると聞く。この施設の活用方法を考えてはどうか。例えば、当分このまま建物が残るとすれば公営住宅で高齢者1人住まいが数多くいる。この人達を、住宅として移住させ、談話室もあり、見守りアパートにもなる。一案ではないか。	建設水道課 老人ホーム 総合ケアセンター	<b>「再掲：高齢者福祉」</b> 養護老人ホーム閉所（令和2年3月予定）が決定してから、住民意見等を把握しながら活用方法を検討することとしています。
一般 P30	公営住宅駐車場の白線が消えてわからないので白線の番号を雪が降るまでに整備してほしい。 1件の家で駐車場を2台3台と駐めているのは、どのような理由があるのですか。	建設水道課	現在、少しずつ進めてきておりますが、実施出来ていない駐車場があります。 駐車場使用願を出していただき1戸に1台の駐車場を利用していただき、基本2台目は許可しておりません。許可なく止められている車の発見や通報があった場合には指導を行っています。

生活環境（ゴミ・衛生）			
中学 p 15	本別町はきれいだと思います。でも定期的にゴミ拾いをしたら良いと思います。そのようにすれば、本別町の人とも仲良く良い関係ができたりすると思います。	住民課	春、秋に清掃週間を設定し、自治会や住民の方に清掃の協力をお願いしています。また、「ポイ捨てゼロの日」運動と題し、道路・河川・空き地等に散乱する空き缶等の回収も春、秋に実施をしています。
一般 P28	燃やせるゴミの収集を週2回にできないものか、検討していただきたい。夏場は生ゴミを早く処分しなければ虫がわくのが困ります。	住民課	現在、ごみは帯広のくりりんセンターに搬入しており、週2回の収集にしますと収集経費増となり、住民の皆様の経費負担が大きくなりますので、生ごみ対策として一度透明な袋に入れてから指定の袋に入れても良いこととしていますのでご理解願います。
一般 P28	春・夏場の生ゴミ回収の日数を増やしてほしい。		
一般 p 51	環境整備は地区にもよるだろうが、私の住む地区では、年3~4回道路のゴミ拾い、草刈りをしていて、それに勤めていますが、そうでない所も見かけます。町全体でこの様な環境整備を子どもから大人まで全員参加の体制で取り組めば、必然的に交流が深まり、顔見知りになり連携も取りやすくなり、豊かさは心の豊かさに、美しさはゴミの落ちていない町に皆で汗を流せば協調・連携が取れやすくなり、子どもたちの道徳教育の一環にもなる。	住民課 企画振興課	春、秋に清掃週間を設定し、自治会や住民の方に清掃の協力をお願いしています。また、「ポイ捨てゼロの日」運動と題し、道路・河川・空き地等に散乱する空き缶等の回収も春、秋に実施をしています。また、子どもたちとの取組を、関係課と協議しています。  自治会単位やボランティア団体での清掃活動による、まちの美化が図られています。ご意見のとおり人と人のつながりや道徳心を涵養することにもつながると考えます。
一般 p 42	町内の街灯が暗い。小学校、中学校、高校付近の街灯が少ない。	住民課	節電、害虫（マイマイガ）対策として電球をLEDにしていますので、少し暗く感じるかと思います。文教地区の街灯については、各学校、関係自治会、関係課を交え協議、検討していきたいと思ます。

生活環境（道路）			
一般 P29	道路、橋など危険箇所の整備をしてほしいです。	建設水道課	道路や橋は整備計画を建て進めてきています。
一般 P29	街の中の生活道路整備に力を入れてほしい。私の家の前は街の中でも未舗装状態。自分で道路穴ボコ直すのいやになりました。		道路補修については、優先順位をつけながら、進めてきています。 道路の倒木については、台風や強風時にパトロールを行ない対応しています。
中学 p 15	財政が厳しいのは理解しているが安全のためにも歩道を整備してほしい。	建設水道課	市街地で交通量の多い道路については基本的に歩道が設置してあります。整備計画に基づき改良工事に合わせて歩道も設置して行きます。
一般 p 43	国道とは言え、そんなに混まない北 6～7 の道路拡張をしなければならないのはなぜですか？もっと町民の声を聞き、穴ぼこだらけの橋、町道など修繕してほしい所がたくさんあると思います。国道の歩道は草が伸び放題、見栄えがとても悪いです。木の枝が伸び信号が見えづらい所もあります。	建設水道課	北 6 丁目からの国道拡幅整備については、国の予算により進めているものですが、国道の歩道の草刈りについては、町からも要望しています。
一般 p 44	本別町でつつじをアピールしているのであれば、町並み、道路側にも植えてみたらどうですか（富良野のように）	建設水道課	これまでに本別公園前、本別高校前などの北海道が管理する道道の歩道にある植樹帯には、つつじを植えて、本別公園内のつつじと景観の一体化を図っています。町道については植樹帯を設けると歩道幅員が狭くなるため都市計画道路等でしか行っていません。 なお、道道や国道にある植樹帯では自治会等によって花の移植や維持管理が行われている状況にあり、今後、ご意見を参考とさせていただきます。
一般 p 45	本別大橋の節電 消す方を反対にすべき。通学の事もあるのだろうが、現在冬場はアイスバーンになる方が通学路となっており危険だと感じる。	建設水道課	北海道が管理している道道となりますので、ご意見等を伝えさせていただきます。
生活環境（上下水道）			
一般 p 48	水道水がおいしくないことをどう考えているのか？	建設水道課	市街地の水道水は、川の水を利用しており、硬質系のミネラル分の多い水質で、蛇口の所が白くなったりはしますが問題は無く、飲んだ時に硬く感じるかもしれませんが、水質基準に合った飲み水です。
一般 p 50	おいしい水道水が飲みたい。せっかく自然豊かな町なのに…		

生活環境（公園）			
一般 p 48	子どもが遊べる所が少なく感じます。本別公園は、6才以上が対象のものばかりで、少し大きい子が遊ぶものばかりです。外遊びをはじめた1才～4才くらいの小さい子が遊べません。また、暑い夏に遊べる噴水も無いので、暑い日に遊ばせる時にとっても困ります。	建設水道課	市街地内においても、本別町は公園数が多い方と思います。 現在、基本的に遊具は、6歳以上を対象にしており、幼児は親子同伴で利用して頂く事になっております。
一般 P27	公園の遊具が小さな幼児向けでないのが残念です。（ブランコのカップ化とかスベリ台がスタイリッシュだが、幼児向けでない）	建設水道課	遊具に関しては、幼児は必ず親子同伴で、ご利用していただくこととなりますが、特に小さな幼児向けで簡単に遊べる遊具があれば、今後の遊具選定をしていく中で、参考とさせていただきます。
一般 p 46	公園や、パークゴルフ場が多すぎる。減らしてその分道路沿いや道の駅、人が集まる所の草刈りなど、景観の維持に努めた方がいい。	建設水道課	公園に関しては、遊ぶ場所として、また、全部ではありませんが災害時の指定避難場所としても位置付けされており、現在の場所に必要と考えています。今後も引き続き、公園の草刈りや景観の維持管理に努めていきます。
一般 p 51	福祉だけに力をそそぐのではなく、子育てがしやすい、公園でもっと幼児が遊べる公園にしてほしい	建設水道課	引き続き、遊具の充実を図りながら、公園運営に努めていきます。
中学 p 14	遊具にしても同じ物が違う公園にあるだけで正直に言って小さい子どもはすぐ飽きてしまうと思います。高いのはわかりますが、ちがう遊具を作ってあげる事で元気で発想豊かな子どもが増えていい町になると思います。	建設水道課	ご意見を参考とさせていただき、公園長寿命化事業の中で、子どもたちが楽しく安全に遊べる遊具等を考えながら整備を進めていきたいと思っております。

防災対策			
中学 p 15	もし、雨で川があふれた時、公民館などへ避難しますよね。でも、公民館の近くに、川があつて、そちらも危険だと私は思います。なので、川から離れた遠い場所に避難させたら良いと思います。	住民課	避難所については、災害の状況に応じて安全なところに避難所を開設していきます。大雨災害などのときは、河川から遠いところに避難所を開設します。
中学 p 15	本別町の安全のために防災マップの看板をもっと立ててほしい（あまり見ないので）	住民課	避難場所には、看板を設置しているところですが、ご意見を踏まえ設置の状況を検討していきたいと思います。
一般 p 47	災害発生時の自助・共助・公助の体制づくりが重要（自治会）	住民課 総合ケアセンター	平成 21 年度より災害時要援護者の把握に努め、平成 23 年度より避難支援について自治会との協議・協定を進めています。また、毎年、自治会長等研修会や在宅福祉ネットワーク等の場において説明しています。 自治会長研修会をはじめ自治会自主防災組織の訓練等を通じて自助・共助の重要性を説明してきています。今後もいろいろな場面で説明していきたいと思います。
一般 p 44	国道沿いの本別インターチェンジ付近に観光の拠点になる施設を造るべきだと思います。公共施設が町内のあちこちに点在しているのでかなり不便。建て替えの際は一ヵ所に集約して、防災の拠点にもなるようにしてほしい。	企画振興課	公共施設の所在地はそれぞれの目的に合わせてゾーニングしています。建て替え計画は現在のところありませんが、建設する際にはご意見にあります防災施設としても利用できるよう考慮していきます。
安心安全な生活			
中学 p 15	交通事故など、多い場所では、何メートル前など看板とかで運転手さんに注意などがあれば良いと思います。	住民課	交通事故死亡現場では、警察署等と道路診断を行い、看板等設置しています。道路管理者、関係機関と協議をしながら進めて行きたいと思います。

行財政、職員接遇			
一般 p 46	役場全体がむだにお金を使っている。もっと夜の電気などを消したり、税金を大切に使ってほしい。	総務課	照明の間引きや、冬期間の暖房の温度を下げるなど、維持管理経費の抑制を図っています。今後も職員のコスト意識啓発に努めます。
一般 p 48	役場の職員で上から目線な話し方、あいさつをしない人がいます。そういうところから直してほしい。	総務課	日頃より、職員にはあいさつの徹底、身だしなみ、笑顔と気配りを忘れないことなど、職員同士お互いに点検し合うよう、指導しています。
一般 p 54	上士幌のようにふるさと納税を増やすようにふるさと納税のお返しを考えるべき。	総務課	本町においては、役場と観光協会、返礼品提供事業者が連携して、町外の寄付者ニーズ等の最新情報を共有し、より魅力的なものとなるよう、常に返礼品の充実に取り組んでいます。 今後は、具体的な寄付の使い道、町づくり事業に直結した寄付募集など、さらに寄付を増やす事業展開を進めていきます。
一般 p 54	町の財政を圧迫している所を改善し、私達の暮らしを豊かにしていただきたい。	企画振興課	総合計画の改定に合わせて行財政改革大綱も改正されます。健全な財政運営に努め、次代に負担を残さないまちづくりを進めます

観光振興			
一般 p 47	本別公園の子ども達の遊び場が点々としている為、親がすべてに目がゆき届かない事もあります。集約させて、大きな遊び場になると楽しいのでは？	建設水道課	義経の里本別公園（本別公園、義経公園、静山公園）は、3つの公園を合わすと公園面積も大きくなり、その分どうしても遊び場が点々としてしまいますが、自然豊かな環境が整っているこの公園は、町内外からも人気を集め、屋外の遊び場、自然観察、キャンプ場としても多くの方に利用されているところです。ご意見を参考としながら、引き続き、公園の維持管理に努めていきます。
中学 p 13	本別公園は、とても観光客やキャンパーなどの視点から見ると、いい施設だと思うので、キャンパーや観光客あてに、夏休みに楽しいちょっとしたイベント（本別公園で）子ども向けにも、行ったり、本別公園に、キャンパー以外の方でもいいですが、特にキャンパーのために温泉などを作ったりとまた行きたくなるような、何回来ても飽きないような町にしたらいいと思う。	建設水道課 企画振興課	ご意見を参考としながら、引き続き、自然豊かな義経の里本別公園の充実を図るため公園の維持管理に努めていきます。
一般 p 44	イベントは沢山あるがすべてアルコール中心すぎる。アルコールが飲めない人や子どもの事も考えてくれるイベントにしてほしい。	企画振興課	主催者（実行委員会）が幅広い年齢層の方をターゲットとして、楽しく交流が図られることを目的にアルコールの提供を行っていると考えます。飲めない方や子どもにジュース等を提供していると考えますが、ビア彩などアルコールがメインとなっている行事もありますので、ご理解をいただきたいと思います。
高校 p 13	イベントが多くて楽しいですが、盛大に広告したほうが良いと思います。	企画振興課	きらめきタウンフェスなどは、新聞や観光情報誌等にも掲載しPRを行っています。一方で大きく宣伝を行うためには、多額の広告料も必要となるため、費用がかからない観光協会フェイスブック等を活用しながら宣伝を行っています。今後も費用を最小限に抑えたなかでメディア等を最大限に活用し、PR活動を行っています。
高校 p 14	きらめきみたいにもっと人が集まるイベントをたくさんしたり、もっとスポーツなどのイベントがあったらいいと思う。	企画振興課 教育委員会 社会教育課	今後も関係団体と連携を図りながら、既存のイベント見直しや、改善を行っています。

高校 p 13	お祭りが多いいけれどあまり周知されていないような気がするので、ポスターを増やしてみたり、学校毎に今月行われるお祭りの一覧のようなものを配布してみてもいいと思います。	企画振興課	イベントごとに広報・ホームページでの掲載等行っています。なお、ご提案のありましたポスター掲示については、イベントの実行委員会にも伝えていきます。また、町広報誌「かけはし」にも曜日ごとのイベント等の情報が掲載されていますのでご活用いただければと思います。
一般 p 44	イベントに参加するとその町の活気を感じますが、本別町のイベントは事前の案内パンフレット、チラシ、ポスター等があまり見かけられません。タイムスケジュールがわからないので、行く気になれません。また、商工会のHPも夏まつりの案内がありませんでした。あるのは2年前の案内です。役場と商工会、連携して強化しないと。そして農協。町内の若者の大多数は役場と農協ではないか。	企画振興課	ご意見をいただいた内容について、イベントの実行委員会に伝えるとともに、町広報誌「かけはし」にイベントタイムスケジュールなどの内容を詳細に掲載するなどしていきます。
高校 p 14	本別町は他の町に負けないぐらいお祭りを行っています。そのことをもっと多くの人々に知ってもらいたいと思います。お祭りをしているというイメージがつくと「活気がある」、「町の雰囲気が良い」などのことに繋がると思います。なので祭りについてもっと発信していくことがまちづくりにおいて身近ですぐに行動できることだと思います。	企画振興課	町内向けイベントも多く、商店街路への誘客や町民が足を運び楽しめる内容も多く、町外の方へ周知が届いていないこともあります。町外へは着地型観光の柱である「きらめき」を中心に本町のイメージアップイベントとして、継続・発展を図ります。
一般 p 47	きらめきフェスティバルは数少ない「町外から人が来てお金を使う」機会なので、駐車場や気球、花火（特等席）、ふわふわドーム等で収益化をはかっていると思う。	企画振興課	町民誰もが町外に誇ることのできる内容のイベントであり、町の財政規模が縮小するなかで、持続可能なイベントとするためにも、ご提案を頂いた事項について実行委員会で検討し必要な見直しを行います。
一般 p 43	本別の道の駅は車社会であるのに出入りするのに駐車場が狭い。私が他の町から来たとなると、あの狭い駐車場では2度と来たくないです。右からも左からも入れる道路。たとえば神社下の道路下の駐車場につながる道路造りと駅前駐車場の上の道路の間の水路、これを埋め立てして広げると大きく変わると思います。	企画振興課	ご提案をいただいた事項について、道路や水路の構造的な問題から現況に至っていますので、ご理解をお願いいたします。また、駐車場の回転率を高めるため、前年度の繁忙期に宿泊車専用駐車場（芝生広場の一部）を設置・開放しています。

一般 p 43	企業の誘致も先が見えず残念です。道の駅を改築して、本別公園とセットで売り込み。観光客の増加には、飲食店はもちろん地場産品の販売や休憩所で気楽に皆が集う場所の確保等。特に駐車場の整備が急務。大型の観光バスが入れる様に。	企画振興課	道の駅と本別公園の誘客については、相互が連携した情報発信に努めており、地場産品についても季節の野菜や加工製品を含め出品しています。駐車場については、大型バスの駐車スペースも確保しているところですが、狭く使いづらいといったご意見もいただいています。繁忙期には臨時駐車場を確保し職員による誘導も行っていますのでご理解をお願いいたします。
一般 p 45	道の駅前広場（一部駐車場）の活用のしかたをもう少し考えてはと、ただ花を植えとけばいいというものでもないと思います。人の姿がさっぱり見えない！ 例～夏場だけでもテーブル&椅子を置いて休憩出来るようにするとか。	企画振興課	道の駅西側のロータリー附近は北海道の道路用地となっています。市街地婦人会のボランティア活動による花壇整備を行っていただいています。
一般 p 46	道の駅ステラと本別公園をトンネル(遊歩道)で結ぶ。本別公園は分かりづらい所にあるので、道の駅に寄った人がついでに行けるようにするとよい。	企画振興課	ご提案をいただいた事項について、多くの方らもご意見が寄せられています。神居山の環境への配慮や費用対効果、トンネル設置許可など、実現は難しいと考えます。
一般 p 52	豊かな農業と林業をいかした道の駅を拡大化してほしい	企画振興課	現況の建物の拡大は困難ですが、建替時において立地場所や建物の規模について検討を行っていきます。
中学 p 13	本別公園は、とても観光客やキャンパーなどの視点から見ると、いい施設だと思うので、キャンパーや観光客あてに、夏休みに楽しいちょっとしたイベント（本別公園で）子ども向けにも、行ったり、本別公園に、キャンパー以外の方でもいいですが、特にキャンパーのために温泉などを作ったりとまた行きたくなるような、何回来ても飽きないような町にしたいと思う。	企画振興課 建設水道課	ご提案いただいた事項について、来園者アンケートの実施により検討していきます。 本別公園に対する町民の皆様からのご意見を集約化し、費用対効果や事業者の確保などについて検討していきます。
一般 p 47	つつじだけじゃなく、花による集客をイベントにして公園などに来てもらえたら良いかも。（バラなどは女性が好きです）季節ごとの花を花壇ごとに変えていくと、シニアの方など夫婦で見に来るでしょう。近くに食べる事のできる小さな売店もあると助かります。花をそろえるのにお金が掛かるのは、寄付をつのれば少しは集まる事でしょう。私も参加します。	企画振興課	ご提案をいただいた事項について、本別公園の魅力をどのように高めていくかについて、多くの方からご意見をいただき検討してまいります。

<p>中学 p 14</p>	<p>豆まかナイトときらめきがすごく人が集まる祭りだと思うので遠くから来ていただいた方にもすごいと思ってくれるような料理などをもっと出すべきだと思います。なんかB級グルメグランプリ的な感じでテーマを豆の作った料理でやるなど。このような新しい試みも大事だと思います。</p>	<p>企画振興課</p>	<p>豆まかナイトにおいては、豆乳を販売するなど新たな取組を行っており、豆料理を提供していますが、参加される方が少しでも満足されるよう今後も取組内容の見直しを行っていきます。</p>
<p>一般 p 54</p>	<p>お盆中、町中は車も多く通るのにのぼりも少なくワクワクする様な風景がないのが残念。高速を下りた場所や共栄駐車場などにイベントテント等有れば…</p>	<p>企画振興課</p>	<p>ご提案いただいた事項について、商工会や共栄にある事業所にお伝えし、実現可能なものから検討を行います。</p>
<p>一般 p 50</p>	<p>芝の生えた、無駄な土地が多い。何にも活用されない土地の芝をただ刈って。広い土地があるので、ドッグランを無料で設けたら、本別に立ち寄り、食品を買ったり、食事をしたりと少しは活性化されるのでは？</p>	<p>企画振興課 建設水道課</p>	<p>土地の有効活用については関係部署と協議を行ない、効果的な活用を行うとともに維持費用を抑えるなど取り組んでいきます。</p> <p>ドッグランは、利用者同志のトラブルや糞尿処理の問題もあり、管理者を置く必要もあるため、現在、本別町管理の公園内や緑地内は動物を入れておりません。</p>

学校教育			
一般 P35	ミッチェルの選び方について、あまりにもてきとうでおかしい。兄弟の所が全員落ちたのは納得いかない。また、検定など頑張っている子が落ちて、検定ない人が行くのはなぜか。それなら全員でくじ引きにするとかしてほしい。ミッチェルも中1からではなく、中2～高3まででいいのでは。	教育委員会 管理課	本事業の参加者決定において、作文の提出と面接を行ない、自らの成長を目的とし、国際理解教育に対する意識も高く、強く参加を希望する気持ちのある生徒を訪問団員として決定しています。
一般 p 41	本別高校に福祉科、介護科をつくる、または昔は農業科や商業科もあった。またもとに戻してはどうか。	教育委員会 管理課 総合ケアセンター	福祉科の設置は、以前に北海道教育委員会と協議したことがあります。全道的に学生が集まらないこと等から難しい状況です。 本別高校生が卒業後すぐに町内事業所で働けるよう、初任者研修（受講料無料）や、ほんべつ福祉セミナー（参加費無料）を開催するほか、就業時の支援として就業支援補助金や、養成校を卒業してから本別町の事業所に就職した場合償還免除となる修学資金制度など、介護職場で働けるような支援策を行なっています。
一般 p 42	子育て世帯です。子どもたちは本別が大好きで、今のところ将来も本別ですごしたいと言っています。高校も本別高校を希望しています。私自身は本別出身ではありませんが、町を気に入っていて、子どもたちがここですこやかにすごしてくれればと思っていますので、本高の存続と、子どもたちの勉強や部活動が充実できる地域づくりをおねがいしたいです。子どもの数がへっているので、小学校や中学校の合併も早めをお願いします。	教育委員会 管理課	本別高校の学級数の減により、教員の数も少なくなっている中、地域の人が部活動の指導を行ったりしています。また、中・高校が合同で部活練習をしたりしています。
一般 p 44	本別高校を残す為のお金が無駄。制服や送迎バス、その他テスト代や給食、年間どれほどの高額が使われているのか。子どもに必要とされない、行きたくない学校を無理に残す意味があるのか。生徒数も減少が明らかになっている今、小学校や中学校も再編を考える時期。	教育委員会 管理課	地元高校に通学を希望している生徒もいます。ただ本別高校を残すだけのための支援ではなく、本別高校の魅力を高め、本別高校に通いたくなるような支援を行っています。給食の提供は小中学生と同じメニューを提供し、費用についても実費負担をいただいています。
一般 p 53	仙美里、勇足の子どもの好きな少年団活動できるように送迎システムの確立を。	教育委員会 管理課	スクールバスの登下校の運行時以外の空き時間を利用して、本別町内への送迎は時間的に厳しい状況です

高校 p 14	小、中、高が集まり、登校や下校などの時、知り合いの方が助けたり、話しやすいと思うので、交流を深めたらいいと思う。	教育委員会 管理課	異校種間での交流を積極的に行っています。お互いの顔もしっかり覚えてもらえるよう取り組みます。
<b>文化振興</b>			
一般 p 51	町は文化事業にも取り組んでいるので、講演や演奏会など公民館では前列の人の高さで落ち着いて鑑賞出来ませんので、小ホールがあるといいと思います。	教育委員会 社会教育課	吹奏楽合同演奏会など、大勢で出演する催しは舞台を使用していないため、鑑賞しにくいことがあったと思います。新たな施設の建設は難しいため、鑑賞者の椅子の配置方法等工夫し、後列の人も見やすいようにしたいと考えます。

社会教育			
一般 p 46	学校も勉強ばかりで行事が減っているの で。アカゲラも、毎年同じ事なので少し考 えた方がいい。キャンプなどつまらない。 カヌーや農大にも行くなど。少年団のキ ンボールの時の景品の配り方も、全員にな にかおかしが当たるようにしたら…。一チ ームにすごい量があたるのではなく。	教育委員会 社会教育課	これまで、あかげら少年団において は、事業内容を3年ごとのルーティーン を基本とすることで参加年齢の幅を広 げ、多くの子どもが参加しやすい環境を 作ってきました。令和2年度からは、新 たな試みとして、社会教育担当とタイア ップして、山登り・リーダー研修会等を 事業展開します。 景品の配布方法については、少年団本 部と協議をしていきます。
一般 p 54	冬に屋内で体を思いきり動かせる場所が ない。体力増進センター、体育館、図書館 が一緒になっていたら、どの世代も利用で きると思う。	教育委員会 社会教育課	総合運動体育館を建設できれば良いの ですが、町の財政や人口規模からも難し いため、施設の維持を図り、利用時間区 分などの検討から、多くの人が利用でき る環境を整えていきます。
高校 p 13	小・中・高校生が地域の方々と交流してみ たいです。	教育委員会 社会教育課	令和2年度から、本別高校で導入される コミュニティ・スクールを活用して、異 校種間連携交流活動を強化していきま す。令和2年度の、教育委員会執行方針 でも示しています。
高校 p 13	私が小学生のときにやった昔のおもちゃ などで遊び最後におもちを食べた学校行 事が凄く楽しかったのを覚えています。あ のように、みんながイキイキして楽しめる 行事は中学の時はあまり記憶に残ってま せん。高齢者の方とお話したり、昔の知恵 や遊びを教えてもらうのは個人的には楽 しかったので、そういった機会は是非残し てほしいです。	教育委員会 社会教育課 管理課	新学習指導要領が本格導入されること となり、各教科の学習時間数の確保に、 大変苦慮しています。しかし、ご意見に ありますように、異世代間の交流や、自 分の生まれ育ったふるさとの事を学習 する時間も、重要であると認識していま す。今後はこれらを、総合学習の時間 を利用して実施していきたいと考えてい ます。
高校 p 13	本別町は、自然がすごく豊かなので自然 のことについてもっと知りたいです。	教育委員会 社会教育課	毎年ほんべつの魅力を再発見してもら うための活動として、「ほんべつ学」を開 催しています。本町の天然記念物文化財 や、豊かな自然の宝庫である本別公園を フィールドとして、実施しています。 (H26～R1) また、本別高校理科教育プロ ジェクトが立ち上がり、地形や地層、植 物や化石など、わが町の好条件を活か した、本別ならではの取り組みとして、事 業展開していきます。

健康づくり			
高校 p 14	きらめきみたいにもっと人が集まるイベントをたくさんしたり、もっとスポーツなどのイベントがあったらいいと思う。	教育委員会 社会教育課 企画振興課	これまで世代を越えた交流として健康ウィーク・義経の里スポーツフェスティバルを開催していましたが、令和2年度から町外からの参加者も募るスポーツイベントの開催と、町内限定のスポーツイベントを新たに開催します。
中学 p 13	地域の人々やの運動のイベントや、健康イベントなど、お祭りを開催することによって健康にもなれて、交流も深められていいと思う。	健康管理センター	
一般 p 50	キツネを町の中で見かける事が増えてきており、安心して、子どもを外で遊ばせられない。鹿追町のように、一部の地域だけでも良いので、駆虫薬散布を行ってほしい。	健康管理センター	<p>エキノコックス症の予防としては、外で遊んだあとの手洗いの徹底や、キツネが住居に近寄らないように生ごみなどを適正に処理することなどが必要です。今後も周知をおこなっていきます。</p> <p>敷地内等のキツネの捕獲が必要な場合は農林課で対応しますのでご連絡ください。</p>
中学 p 13	地域の人々やの運動のイベントや、健康イベントなど、お祭りを開催することによって健康にもなれて、交流も深められていいと思う。	健康管理センター 教育委員会 社会教育課	ふれあいまつりや勇足公民館まつりでの健康に関するイベントや高齢者サロン、食育や運動について講演会等を行って、多くの世代の町民の健康づくりを推進していきます。

医 療			
一般 P34	町の大事な事業である町立病院が人気がないのは、大きな問題だと思います。福祉を打ち出している本別町は改革が早期に必要では。	国保病院	大病院との提携は医師確保の面で確かに利点があると考えます。地方病院は一般的に患者数が少なく、そのことにより不採算となることが多いと考えられます。民間での運営は不採算部門の整理が進むことが予想され、これまで同様の医療が受けられなくなることも考えられます。そうならないためにも、今のところは直営での運営を維持しますが、院内で経営検討委員会を開催し、経費の削減、収入増加の取り組みについての検討を進めています。
一般 P34	医療は、民間にしたほうが質が上がると思う。		
一般 P34	病院は、民間か、大きな病院と系列を結ぶ。		
一般 P34	施設利用の利用者負担はやむをえないかもしれないが、医療事業の質は下げないでほしい。	国保病院	眼科等の専門診療科を多く開設し利便性を高めると、一方ではコストが増大するということがあります。その点を十分に考えながら利便性とコストのバランスをうまく調整していくよう内部で検討を進めています。
一般 p 49	医療に関して、町国民健康保険病院の赤字を何とか減らす事を考える事、診療内容のあり方、人員、働き方、自分達でも発想と努力が足りなさすぎます。笑顔もない。		町立病院は、町民にとって身近な「かかりつけ医」としての役割を担っています。体調が悪いときは診療科にかかわらずまずはご相談ください。
一般 p 52	休日に町立病院の受診ができるのはありがたい。これからも体制の維持を		
一般 p 42	町立病院の医師が、各診療科に毎日いて、具合が悪い時にみてもらえるようにしてもらえると良い。(眼科や皮膚科、産婦人科等々)		
一般 p 42	田舎に住んでいるとお店もなく買い物にも行けなくなる。病院も本別まで行かないといけないその反面車の運転(老人)が問題になっている中で、いつまで自分のチカラで住んでいれるのか(生活できるのか) 移動販売の車、往診(地域の集まる場所、週1でも週2でも)したりできたらいいなと思います。	国保病院	地方での生活の継続には医療サービスは欠かせません。その点で訪問診療は各地域での医療ニーズにある程度応えられるサービスであると考えており、今後のサービス拡大へ向け検討を進めています。 <b>「再掲：商工業の振興」</b> 社協あんしんサポートセンターの事業で「買い物代行(または徒歩で一緒に買い物に行く)」というサービスはありますが、“車で一緒に買い物に行く”というサービスには至っていないため、社協と検討を進めます。 ご意見にあります、移動販売を含め、買い物に不自由している方のご意見を伺いながら、対策を進めていきます。

<p>一般 p 44</p>	<p>町立病院の件について改善して欲しい事があります。入院、または外来での処置の際、ベッド使用時の枕ですが、不衛生だと思ってます。点滴を受ける際にも前に使用した枕に、タオルもかけず、そのまま使用させられる、不快感です。カバーをその度替えるか、最低でもタオルをかけて、その度、タオル交換ぐらいはしてもらいたい。枕をもっと大きな物に交換して欲しい。看護師同士の会話（私語）が多すぎ。</p>	<p>国保病院</p> <p>かねてより職員の言葉遣い等接遇に関しては厳しいお言葉をいただいていたところ。その都度、該当部門だけではなく病院全体で情報を共有してきました。また、外部講師を招いて接遇に関する研修会も実施し改善に努めてきたところ。今後も更に改善できるよう取り組んでまいりますのでご理解ください。</p> <p>点滴用ベッドのカバー等交換につきましては、配慮が足りませんでした。枕カバーにつきましては、タオルをかけて都度取り換えるように、布団カバー等の取り換えにつきましては、患者様にご迷惑とならないよう状況をよく確認しながら行っていきたいと思います。</p> <p>患者様のプライバシーの確保につきましては、患者様の状態によっては検査等で廊下を移動することもあり完全に人目に付かなくすることは困難ですが、できる限り努力はしていきますのでご理解ください。</p>
<p>一般 p 47</p>	<p>中央処置室での使用済み布団カバー、シーツの取り替えを内科・外科の間で患者いる前で行っている（ホコリを待ち合いの患者が吸っている）時間帯を考えてほしい</p>	
<p>一般 p 55</p>	<p>生涯本別で終えたくても安心して医療を受けられる体制にしてほしい。</p> <p>病院の診察時、なぜ診察室に看護助手がいるのか？診察室内は医者と看護師にしてもらいたい。</p> <p>看護師・看護助手の言葉遣いが友達、知人の言葉遣い、対応が悪い。対応の勉強をしてもらいたい。町外の病院を受診しても患者に対してこのような対応・言葉遣いをしていない。</p> <p>救急専用の診察室を作ってもらいたい。運ばれてきた患者を待ち合いにいる患者が「〇〇さんだよ。どうしたんだろう。」と声が聞こえ嫌だ。</p> <p>病院の信頼がなくなり、町外の病院を受診することになり患者も減る。病院の赤字につながるのでは早急に対策体制を変える考えを望む。私達年老いたものでも嫌なこと1つでもあると患者として2度と受診することはない。対策をしてほしい。</p>	

公共交通			
一般 P27	高齢化の為の循環バス等の充実	健康管理センター 企画振興課	通院目的のバス運行は、運行時間の制約もあり、すべてのニーズにこたえることは難しい状況です。また、高齢化により足の確保が必要な状況も個々に違い、身体的にバス乗車が難しい場合は個別対応が必要な場合もありますが、これに対応する車両の購入やサービス事業者もない状況ですぐに対応することが難しいのが現状です。今後も町としてどういう形が良いのか検討していかねばならないと考えています。
一般 P27	農村の高齢化、交通網の整備。	健康管理センター 企画振興課	循環バス本来の目的は、国保病院への住民の足の確保という観点から運行をしているもので、その経路を活用して買い物、役場、銀行等など国保病院以外への用事がある際に利用していただいているものです。始発から国保病院までの所要時間は約1時間を要することから町内全域を循環バスで賄うことは不可能です。町内全域をカバーする体制づくりに向け、みなさんのニーズを把握し、有効な手段を検討していきます。
一般 p 42	循環バスが町内全域を走るようになってほしい。		
一般 p 42	電車もないので、本別→帯広間の高速直行バスがあっても良い。(1日に数本だけでも良いのでは…)	企画振興課	陸別と帯広間のバス運行は十勝バスで1日往路9便、復路9便となっていて、沿線自治体1市5町で各自自治体内の走行距離により運行費を負担しています。令和元年度の本別町の負担は1千2百万円程になっています。現在の本別から帯広バスターミナルまでの運行時間は1時間40分程で、ご意見にある直行便を増便することにより時間短縮は可能になりますが、新たな費用負担が発生することになります。
一般 p 42	週に1~2回帯広への直通バスがあると良い。年寄りに今のバスではつらい。遠すぎる。		
中学 p 15	本別→帯広までの交通手段がバスしかないので、増やしてほしい。		

一般 p 51	町でのイベントがある時は、農村地区など、また団地内にもコミュニティバス（ワゴン車）の送迎があると高齢者の方も参加できるのではないかと。それで飲酒運転も防げるのではないかと。	企画振興課 健康管理センター	<p>高齢による免許証の返納などにより、医療機関への受診や買い物等のために利用する交通手段が不便となること が課題となっています。</p> <p>町では行政改革推進本部会議、交通体系検討部会において検討し、皆さんのご意見を聞きながら進めていく考えです。</p> <p><b>「再掲：高齢者福祉」</b></p> <p>ショートステイ（短期入所）を利用するには対象者は限定（要介護認定者等） されます。施設の空き状況（最大5名） により日程調整は必要となりますが、 利用する際、送迎対応も可能であります。</p>	
一般 p 51	高齢者の運転による交通事故が増えています。免許証の自主返納に取り組み、返納後の対応（タクシー、バス）を考えてほしい。			
一般 p 51	コミュニティバスが予約できて、玄関先まで送迎してくれる（有料でワンコイン位で）と、農村地区の高齢者はありがたい。また、農繁期、高齢者をあずけられる施設があるといいのでは。			

まちづくり			
一般 p 45	人口減少もありますが、高齢化率がかなり高くなっている現状もあります。今の状態から高齢者への対策が求められるのも十分理解はできますが、そこばかりではなく、次の世代のことを考えることもとても重要だと思います。 高校進学で町外に子どもが出て行ってしまったとしても、将来本別に戻ってくる、または町外からでも人が来てくれれば良いことだと思います。	企画振興課	総合計画策定審議会、まちづくりセミナーでも同様の議論がされてきたところです。勤労世代の年齢を確保すること、進学や就職で本別町を離れた人が、本別に愛着を感じて戻ってこられるような基盤づくりが必要であり、町全体で体制づくりを進めていくよう努めていきます。
一般 p 45	若者だけでなく、30代、40代のこれから結婚・出産・子育てをしていく世代や子育て中の世代にも視点をおいた町づくり、ありきたりですが、それらの世代の就業場所をつくっていくことも重要かと思えます。		
一般 p 50	人真似でない、本別町ならではのアイデアが進められたらいいと思います。	企画振興課	総合計画策定審議会でも同様の意見をいただいています。良いものは真似ることも必要だと思いますが、本別だからできることを追求していきます。
高校 p 15	街の雰囲気はいいのですが、町の外との関わりが少なく、どこか閉鎖的な印象です。連携した関わりが必要だと思います。	企画振興課	総合計画策定審議会、まちづくりセミナーでも同様の意見をいただいています。一方で地域やご近所のつながりが強く、安心して生活ができ、本別に住み続けたいと思う理由にもなっています。内部につながりの良さを活かしつつ、他市町村との連携を強める取り組みを進めていきます。
高校 p 13	地域創生学などの取り組みを、もっと多くの本別町の子どもに体験させてあげる。	企画振興課	行政担当としても、そういった機会があれば積極的に対応したいと考えておりますが、本町にはまちづくりに関わる様々な方々があり、学校における総合的な学習の時間などで行政・民間それぞれの町の先生として授業等にも参加しています。
一般 p 54	人口を増やす事に力を入れ、とくに若い人達が住めるような町づくりをしてほしい。	企画振興課	人口減少は首都圏以外で起きている現象であり、人口増加は望めない状況です。 若い世代が希望をもって生活できるまちづくり、住み続けたいまちになるよう努めていきます。

一般 p 49	まちづくりの基本として、この町のキャッチコピーを広く町民から募集する。	企画振興課	総合計画策定審議会（町民 23 人）では町民の皆さんが一致団結して、目標に進んでいけるようなスローガンづくりを行っています。
<b>全庁共通</b>			
中学 p 13	地域の人どうしが交流を深められるようなイベントをたくさんやる。	全庁	（教育委員会スポーツ）これまで世代を越えた交流として健康ウィーク・義経の里スポーツフェスティバルを開催していましたが、令和 2 年度から町外からの参加者も募るスポーツイベントの開催と、町内限定のスポーツイベントを新たに開催します。